

4年 研修の経過（前期）

H14.11.18

〔学年研修目標〕 身近なことから課題を見つけ、自分なりに解決する子

〔活動のテーマ〕 再発見 すてきな大岡

1 具体的な活動内容

知らせよう みんなの町大岡（1学期）

「大岡公園のひみつを調べよう」 - 大岡公園のよいところをみんなに知らせよう -

（1）テーマ設定の理由

4年生の子供たちは、明るく素直で、頼まれたことや決められたことは最後まで責任を持って行うことはできる。しかし学習面では、課題や問題に自分で気づいて進んで取り組んだり、問題解決に当たっては、解決の方法を選択したり、判断したりすることが苦手である。何事にも興味・関心、こだわりを持って活動を続けることができるようになれば、子供たちの力はさらに伸びていくと思う。そこで「いきいきタイム」では、子供たちにとって一番身近である大岡南小校区をもう一度見直し、どんな小さな事でもいいから自分なりの気づきや疑問を感じ、課題を見つけ、それを次の活動につなげていけるようにしたいと考えた。幸いにも子供たちは3年の時、「発見 みんなの町大岡」をテーマに取り組んでいる。それをさらに引き継ぐことによって、子供たちはこだわりを持って追求していくことができると思う。

（2）課題作り

導入のガイダンスで、「大岡南小の校区で自慢できるところ・自慢することを、三小の4年生に知らせよう。」と投げかけ、課題作りへの目的意識と意欲づけを図った。ほとんどの子供たちが、「大岡公園」を自慢するところとしてあげていた。その理由として、「とても広い。」「緑がたくさんある。」「アスレチックがある。」「たくさんの人が遊びに来る。」などがあげられた。子供たちがふだん当たり前のように利用している大岡公園だが、様々な視点からよさを感じていた。

そこで、1学期のテーマを

知らせよう みんなの町大岡 「大岡公園のひみつを調べよう」

と設定し、「大岡公園のよいところを見つけよう」を活動のテーマとした。

まず、何度も大岡公園に行き、公園のよいところや、知らせたいと思うことを見つける活動を行った。子供たちは、「木や草花がたくさんある。」「鳥や虫などがたくさんいる。」「ベンチやテーブル、トイレなどがある。」「たくさんの人が訪れている。」「小さな子がたくさん遊んでいる。」などの気づきが見られた。そこで、個々の気づきを自己課題とし、公園のことを知らせるためにこれからどんなことを調べていくか具体的に考えるように投げかけた。課題をしっかりと把握できていない子供は、どうしても具体的な活動がうかんでこない様子であった。そのような子供には、もう一度課題を見直すように投げかけた。



(3) 自力追求

課題が決まったところで、いつ何をどのようにして調べるか、どのように発表するかなど、課題解決への見通しをつけるようにした。どんどん調べたいことやそれを調べる方法を考え出す子もいたり、なかなか考えることのできない子供もいたりして、その個人差は大きい。それらの様子から問題や課題を解決する力の弱さを感じる。個々に課題をつかんだものの、自己課題をしっかり把握している子は少ない。そこで、課題が似ている子供たちでグループを作り、協力して解決の方法を選択し、課題を追求していけるように考えた。

情報収集には、身近な大岡公園なので、何回も公園に行きインタビューをしたり、公園の様子をスケッチしたり、デジカメで撮ったりするなど、多くの体験活動ができた。

木グループ	草花グループ	生き物グループ	施設グループ	人グループ	歴史グループ
スケッチする。 写真を撮る。 種類(けやき・やまもも・くすのき等)や本数を調べる。 公園内の分布を調べる。 双子の木のインタビューして調べる。 光合成について調べ、木の大切な役割を考えた。	スケッチする。 写真を撮る。 種類や公園内の分布を調べる。 育て方を調べる。 草花を使った遊び方を調べた。	写真を撮る。 種類を調べる。(あり・ちょう・鳥など) どこにいるか調べる。 散歩している犬の種類を調べる。	テニスコートの広さを調べたり、インタビューしたりする。 遊具の種類や遊び方を調べたり、インタビューしたりする。 ベンチの数や種類、形などを調べたり、インタビューをしたりする。 広さを歩いて調べた。	・年齢層 ・目的 ・訪れる曜日 ・公園の自慢 ・願い などを、訪れている人たちにインタビューした。 (グランドゴルフをしているお年寄り・小さい子供づれのお母さん・犬を散歩している人・リハビリをしている人・公園を掃除している人など)	公園ができる前にあった東京麻糸について、インタビューして調べた。 20年前にできたばかりの公園の様子をインタビューして調べた。

(4) 自己表現

本単元では、「三小の4年生に大岡公園のよいところを知らせよう。」という情報発信の目的があるため、「相手に分かりやすく表現する。」ことを目当てとして取り組ませた。表現方法としては、これまでの体験から、新聞・パンフレット・本・紙芝居や絵地図などいろいろな方法で、工夫していねいに仕上げた。「分かりやすく」するための資料の示し方やまとめ方など、教科での学習も想起させながら支援していった。

発表は、グループごとにまとめたのでパビリオン形式はとらず、クラス全員で聞き合うことにした。説明する時は話す時の基本にのっとり、大きな声ではっきりと話すように、必要に応じて発表原稿も用意するように声をかけた。国語の「わたしはレポーター」の学習と合わせて、資料の中の言葉をそのまま発表するのではなく、自分の言葉で表現できるように、発表メモを組み立てるように指導した。

発表では、ワークシートに感想や互いの発表から分かったこと、互いのよさを記入する活動を通して、相互評価や認め合いの場とした。

2 成果と課題

成果

- ・身近な大岡公園だったので、直接見たり聞いたりすることができ、情報が集めやすかった。
- ・地域の人々にインタビューすることで、多くのふれあいの場を持てた。
- ・インタビューの仕方が上手になり、自分が知りたいことを相手から聞き出せるようになった。
- ・大事なことをまとめる力が少しずつついてきて、まとめ方が3年生の時に比べ上手になった。
- ・話す人の顔を見てはっきり大きな声で発表できるようになってきた。
- ・子供たちにとって身近な大岡公園のよさをたくさん知ることができた。

課題

- ・木や花・生き物は、1年を通じて調べないと変化が分からないため、調べに広がりが見られなかった。
- ・グループで調べたりまとめていったりしたので、中には友達まかせにしてしまう子も見られた。

3 今後の見通し

公園を訪れている人たちへのインタビューから、「もっと遊具やベンチが欲しい。」「ごみがないきれいな公園になってほしい。」「花がもっとあるといい。」などの地域の人たちの願いを知ることができた。これらのことから子供たちととも公園を楽しめるようにするにはどうしたらよいかを話し合い、2学期は「楽しもうみんなの町大岡」<もっとすてきな大岡公園にしよう><もっと便利な公園にしよう>をテーマに活動していくことにした。

また、大岡公園のよさをたくさん知ることができた子供たちは、そんなすばらしい公園で自分たちももっと何かを楽しみたいという思いがわいてきたようである。そして、この公園でしかできない遊びはないかと投げかけてみたところ「広いからたこ揚げができるのではないか。」という声の子供たちから出てきた。そこで、<公園でできる楽しい遊びを考えよう>「公園でたこをとばそう」をテーマに加え、活動することにした。

4 パソコン学習

1 学期 「キーボード操作に慣れよう。」

- ・ゲーム感覚で楽しくキーボード操作を楽しんだ。
- ・賞状作り
- ・名刺作り

2 学期 「インターネットで必要な資料を集めよう。」(情報収集)

<MY 静岡日本一>

- ・社会科の静岡県の学習と絡めて、静岡の日本一の自慢を調べ新聞にまとめた。

<手で食べるはしで食べる>

- ・国語の説明文の学習の発展として、食文化について一人一人が課題を決めて調べ、パンフレットにまとめた。

成果と課題

- ・キーボード操作に慣れ、文字がうてるようになってきた。
- ・インターネットで、自分の欲しい資料を探して収集することができるようになった。
- ・何を調べたいかがはっきりしていない子供は、資料をしばらくめずなかなか必要な資料が見つからない。

Q 1週間に何回来るか?

① 地図
 ② 大岡公園
 ③ 運動場
 ④ 表 (16月10日)

① 月1回来る。(はい) (老人)
 ・ A はあの日だと、週3回 (老人)

Q 大岡公園のきいている所はどこですか?

・ A 広くて子どもが安全に遊べる所
 ・ A 山も木の木 (婦人)

Q もっとよくなってほしいとはなんですか?

・ A もっとベンチがほしい (大人)
 ・ A じみささらかせないでほしい (老人)
 ・ A ベンチを新しくしてほしい。

Q なぜ大岡公園に来たのですか?

A グランドゴルフの練習
 A お買い物ついで
 A 遊びに
 A そうじをしている

Q 大岡公園に来て、どんな気持ちですか?

A 広い
 A みどりたくさんあって気持ちいい。



<大岡公園に来る人について調べました。>

<東京麻糸とは>

東京麻糸は麻でありもものなどを
 つくっているところ。東京麻糸は
 広がった。小学校のほうでアス
 ツのほうまで麻糸だ。東京麻
 糸は空はうで焼けてしま、大
 阪に移った。それはほかにも理由
 があった。

東京麻糸は大正6年3月
 (1917年に大岡村(現在大岡)
 にできた。

広がった麻糸

東京麻糸

<東京麻糸がつぶれた理由>

麻の糸をつかおなくなりナイロン
 などの外国せいのもをつかう
 ようになった。ふけいきのなが
 らもある。

<その他いろいろ>

正門は大岡公園のとなりに
 あった。
 西門はココスの戸所にあつた。
 運動場のとなりにおとまり
 するところがあった。

運動場から学校まで
 交番だった。

↑
 <東京麻糸のことを調べました。>



